

~~~~~  
 外来生物調査プロジェクトProject A報告

## スクミリングガイの分布を調べよう

プロジェクトA員班では、スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の大阪府域での分布を調べます。スクミリングガイは南アメリカ原産の大型の淡水性巻き貝で、名前の通りリングのような外形をしています（図1）。食用養殖目的で1980年代に輸入されており、現在野外で定着しているのはそれらが投棄または逸出したものとみられます。旺盛な植物食者であり、抽水植物への被害が懸念されます。イネの苗を食べることから植物防疫法の有害動植物に早くから指定され、輸入は規制されましたが、国内での分布は関東以西を中心に広がる一方です。

調査では、卵塊の目撃情報を募集します。スクミリングガイは普段は水中で生活しますが、産卵は水

面より上で行います。初夏から初秋にかけて、護岸や抽水植物の表面に鮮やかなピンク色の卵塊を産みつけます（図2）。この外観の特徴で同定して差し支えありません。念のため携帯やデジカメで卵塊の写真を撮り、調査日と場所がわかる情報（住所や経緯度など）を添えて、石田（iso@mus-nh.city.osaka.jp）までお知らせください。水田や流れの緩い河川に生息しますが、都市公園の池でも確認されており、このような環境にも注目してみてください。大阪府内だけでなく、隣接府県の情報も受け付けます。

＜石田 惣：博物館学芸員＞



図1：スクミリングガイ。



図2：水田のコンクリート畔に産みつけられた卵塊。